

大伴小だより

富田林市立大伴小学校 令和4年12月23日（金）1月号

かみ さいぶ やど
「神は細部に宿る！」 校長 堤 周作

これは、“勝っても負けても一喜一憂せず、コツコツと目の前の試合に対し、最善を重ねるように”と、サッカー日本代表の森保一監督が好んで使う言葉です。

せんげつ さっか わたし はやお しんや お
先月からのサッカーのW杯（ワールドカップ）、私も早起きしたり、深夜まで起きたり

おうえん わたし は かずかず しーん いっさいちゆう もっと
して応援していました。私は恥ずかしながら数々のシーンで一喜一憂してしまいました。最も

いんしょう のこ にほん よりはるかに大きく つよ うま すべいん おお ひっし
印象に残ったのは、日本よりはるかに大きく強く上手いスペインに押されまくりながらも必死に

ていこう つづ つい ぎやくてん てんめ みとませんしゅ さいご あきら ぼーる お
抵抗し続け、遂に逆転になる2点目、三苦選手が最後まで諦めずにボールを追いかけて

ごーるらいん こ すんぜん やく さ うし ばす みとませんしゅ しん
ゴールラインを越える寸前、たった約1mmの差で後ろにパスをし、三苦選手を信じてつめていた

たなかせんしゅ ごーる き しーん おれ ぜったいか たましい ぼーる の うつ
田中選手がゴールを決めたシーン。まさに「俺らが絶対勝つんだ！」という魂がボールに乗り移

り、まさに「神は細部に宿る」を体現したゴールで、世界を驚かせました。



にほん はもう1つ、W杯で世界を驚かせました。日本チームが勝った時も、負けて悔しくてたまらない時も、試合終了後に日本のサポーターたちがスタンドに散乱するペットボトルや食べ物を青色のごみ袋に黙々と回収します。スペインと同様とても強いドイツから、歴史的な勝利を飾った翌日には、大会組織委員会が日本人サポーターを表彰し、感謝の気持ちを伝えました。海外メディアは今大会の行動を大きく報じていますが、過去のW杯でも日本人による「ごみ拾い」が脚光を浴びており、今や日本の「お家芸」になっています。表彰された日本人サポーターは「会場の清掃はリーグでもしているし、過去のW杯でも行われており、先輩のまねをただけ」と、`先人`たちの良き伝統を引き継いできた結果だと振り返り、別の人は「こういう形で表彰されるとは思わなかった。ごみ拾いは日本の文化。世界にその輪が広がればいいな」と笑顔を見せていました。表彰した組織委員は「SNSで動画を見てとても感動した。自分たちの街ではないのに、積極的に清掃活動というアクションを起こしてくれた。今大会はサステナブル（持続可能性）をテーマにしてい

るので、こういう表彰ができてうれしい」と喜んでいました。＜参考＞THE SANKEI NEWS

このニュースを見て思い出したのが、大伴小学校です。私たちが子どもの頃から知らず知らず

せいそう ぶんか ひ つ ねんしゅうがくりよう ねんりんかいがくしゃ き とき うつく もくひょう
に清掃する文化は引き継がれ、6年修学旅行や5年臨海学舎でも、「来た時よりも美しく」を目標

じぶん つか へ や しょうじばしよなど きれい せいそう きわ あた まえ
に自分たちが使った部屋や食事場所等を綺麗に清掃しました。極めて当たり前に。

そして最近、教員が指導したわけでないのに子どもたちが自主的に行動している事がたくさん増え、驚いていたところでした。子どもたちの「神が宿りそうな」行動の一部を紹介します。

ひるやす うんどうじょう たいりょう おちば ねんだんしやく にん
○昼休み、運動場にたまる大量の落ち葉、6年男子約4、5人がほうきで落ち葉を集め始めると、

ちか ねんだんしすうにん と おに ねんじょしすうにん ごうりゅう おちば
近くにいた1年男子数人ががり取りでとり、鬼ごっこをしていた4年女子数人も合流し、落ち葉

せいそう わ ひろ わたし も い ごみばこ まんたん あし ふ さら
清掃の輪がどんどん広がりました。私が持って行ったゴミ箱3つが満タンになり、足で踏んで更

い おも ごみばこ はこ こうむいん まついせんせい わた
に入れ、重いゴミ箱を“よいしょよいしょ”とみんなで運び、校務員の松井先生に渡しました。

ほか せいもんふきん おちひろ ねん たくさん こ やす じかん じしゅてき おこな
他にも正門付近の落ち葉拾いを、1234年の沢山の子らが休み時間に自主的に 行っています。

さいきん こうしゃ かい と い れ すりっぱ なら きも
○最近、さくら校舎1階のトイレのスリッパがきちんと並べられていて「気持ちいい

なあ」と思っていたところ、休み時間に1年男子2人がトイレ前のすのこにベタツ

ひざまず すりっぱ なら
と跪いて、スリッパをきれいに並べていました。

こうしゃ かい と い れ ねんじょし じしゅてき と い れ つか きれい つか
○さくら校舎2階のトイレに、5年女子が自主的に「トイレはみんなが使うものです。キレイに使

と い れ ようこ と い れ みず なが つぎ つか ひと きも つか
おう、トイレも喜ぶよ」「トイレをしたあとは、きちんと水を流そう。次に使う人が気持ちよく使

えるよ」という張り紙を、イラスト付きで作ってくれました。この張り紙はとても素敵のため、

ねん せんせい ようせい セットつく もら だんし い れ は
5年の先生の要請で2セット作って貰い、男子トイレにも貼っています。

ねん ねん くつばこまえ ゆか すな どれ おちば た すななど ひど
○2年と3年の靴箱前の床はしょっちゅう砂や泥、落ち葉が溜まります。その砂等が酷くなったら

ねん ねん こ じしゅてき は ほこり もくもく
いつも、2年や3年の子らが自主的にきれいに掃いています。埃まみれになり黙々と。

おおとも ぶち ようちえん ほうくえん せんせい おおともしょう こ すなお やさ だい
○11/29「大伴プチまつり」で、幼稚園と保育園の先生が「大伴小の子らみんな素直で優しい」と大

ぜっさん みせ ひら ねん こ ようじ めせん あ やさ かた
絶賛してくれました。お店を開いていた456年の子らは、幼児の目線に合わせて優しく語りか

たの あんないやく ねん こ て つな ある あたた えすこ と
け楽しませ、案内役の3年の子らは、手を繋いでゆっくりと歩きとても温かくエスコートしてい

せんせい よそう こ やさ
ました。先生たちの予想を超えた優しさだったようです。

ねん ひと おおとも すまい る ふらわ こうき かしょ こうひよう かしょぞう ちいき しせつなど
○6年の人たちは「大伴スマイルフラワー」で後期も、20ヶ所（好評で4ヶ所増）の地域の施設等

めっせーじ てがみ そ ぶれぜん と しょう かた しせつ
にメッセージと手紙を添えてプレゼントし、おじいさんやおばあさん、障がいのある方、施設の

かたなど よろこ こんかい ふゆ はな はぼたん ちゅーりっぷ きゅうこん う
方等にととても喜ばれています。今回は冬の花とともに葉牡丹やチューリップの球根も植えました。

○12/13三中校区伝統の「まちピカ」で雨上がりの寒風吹く中、56年が、地域の方や中学生、幼稚園児等の人たちと協力し、校区の清掃を行いました。

あい おおとも こ かくじつ せいちょう らいねん こ すこ せいちょう お し
愛すべき「大伴っ子」は確実に成長しています。来年も子どもたちの健やかな成長に向けてご支

えん ねが もう あ さむ ねんまつ ねんし じあいただ よ とし むか
援をお願い申し上げます。寒くなる年末・年始とご自愛頂き、良いお年をお迎えください！

